



# コミュニティ通信

Vol.  
35

コミュニティ通信は、地域の様々な取組みを紹介し、皆様に「コミュニティや地域活動にもっと興味を持っていただきたい」、「身近に感じていただきたい」。そんな思いを反映して、発行しています。

今回は、「コロナに負けない!地域を元気に!」をテーマに、地域活動に制約がかかる中でも、3密を避けるなどの感染症対策を講じ、さまざまな工夫をしながら活動する校区をご紹介します。

## 東区

### 舞松原校区

#### 校区に元気を!お月見会の開催

屋外で、密にならず、マスクは外さずにできること、そして校区に元気を!と考え、急遽企画し10月に開催した「お月見会」。準備・周知期間とも短かったにもかかわらず、450名もの方が集まってくれました。

公民館の目の前が公園という立地を生かし、公民館の駐車場エリアでは、篠笛の演奏会。公園では、中央にお供え団子を飾り、その周りで青育部会が子どもたちにヨーヨーを配ったり、環境・交通安全の各部会が啓発活動を行ったりしました。きれいな月を眺めながら楽しむ、素敵な秋の一夜となりました。



## 博多区

### 美野島地区

#### 新型コロナウイルスに対応した避難所開設訓練

公民館を会場に、「新型コロナウイルス感染症対応避難所開設訓練」と題し、コロナ禍で大規模地震が発生した後に、多数の避難者が集まった状況を想定した防災訓練を実施しました。

第一薬科大学の講師から知識・技術を学んだ防災委員が、フェイスシールドや防護服等を着用して、受入手順や誘導方法を確認するとともに、収容避難所となる住吉小・中学校の正確な図面を用いて区割りや動線を確認しました。

今後も強く感染リスクを意識し、自助共助としての災害時の感染症対策に取り組んでいきます。



## 中央区

### 高宮校区

#### あかりでエールを! ~灯ろうでまちにほっとな明かりをともしよう~

「こんな時だからこそ、ゆったりとしたひと時を過ごし、元気を出して行こう!」「医療従事者や関係者の皆様への感謝の気持ちを伝えたい!」との思いをカタチにと、校区社会福祉協議会が企画しました。はじめての試みで、しかも多くの人が集まれないという状況でしたが、直径50cmの蓮の花をかたどった大きなものや、高宮小の子どもたちが思いを込めた「一言」を記したものなど、約700個の灯ろうを手作りしました。

開催期間中は、校区のみなさんを優しい明かりで包み、静かにゆったりと、癒しの時間を過ごしていただくことができました。



南区

塩原校区

## しおばる・しみず散歩 ～3密からNO密へ～

コロナ禍でも、体を動かす習慣をつけてもらおうと「しおばる・しみず散歩」を企画しました。11月の1か月間にわたって、校区のいろいろな所を一人で、いつでも、距離・速さ・回数を競わずに「散歩して楽しんじゃおう!」というもので、ポイント制による数値化により、自分のペースでの目標作りもできます。約200名の参加があり、校区について再発見してもらうよい機会にもなりました。この感染症をじっとしてやり過ごすのではなく、しなやかにそしてしたたかに乗り切っていくことにチャレンジしていきたいものです。



城南区

別府校区

## ZOOMの使い方講座

コロナ禍でも地域活動自体が衰退しないように、男女共同参画協議会で、非対面形式で対話ができるオンライン会議アプリ「ZOOM」の使い方講座を開催しました。公民館に集まり、まずは自分のスマートフォンからオンライン会議に参加する方法、実際にZOOMを通して会話する方法などを学び、次に、学んだスキルを活かして、自宅からオンライン上に集まって会議を行いました。さらに、新年のあいさつ会をZOOMで開催し、各種団体の長が参加しました。実際に集まることが難しい状況でもオンラインならできることが分かりました。



早良区

百道校区

## ハロウィンウォークラリー&最強クイズ王 in ルミナリエ

10月31日、ハロウィンウォークラリー及び最強クイズ王inルミナリエを開催しました。何か校区住民が安全に楽しめることができないだろうかと考え、きめ細かい感染症対策を施したイベントを企画しました。当日は晴天に恵まれ、ウォークラリーには家族連れなど200名、クイズ王には小学生80名が参加。ウォークラリーに参加した家族からは「仮装してのラリーは楽しかった。また企画してほしい」との感想をいただきました。また、クイズ王に参加した小学生は、人との距離の確保などのルールを守りながらクイズに熱中し、大盛り上がりでした。



西区

西陵校区

## 心和む夕涼みコンサート

8月に自治協議会主催の「夕涼みコンサート」を開催しました。自治協役員や公民館職員で感染症対策について何度も話し合い、公民館の講堂と広場を会場とし、来館者のマスク着用、入館時の手指消毒、館内常時換気、観客同士の距離の確保などを徹底することにより、開催することができました。当日は、ピアノ奏者の久保田正子さんとフルート奏者の柴田有紀さんによる二重奏やそれぞれの独奏、観客も参加した四重奏など、あっという間の1時間となりました。夕暮れ時の生演奏は、参加者の心にひと時の安らぎをもたらしたことでしょう。

